

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果(H30.6.1)

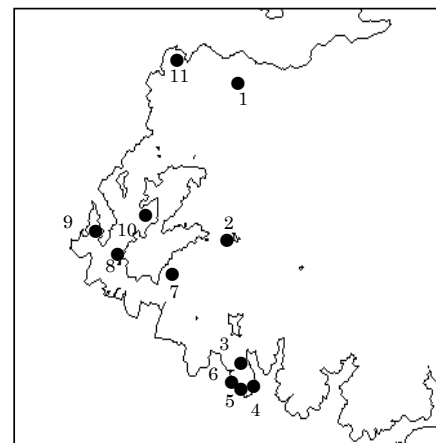
単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	コクロデニウム ホリクイコイデス
1.長田沖 アクアファーム	9:04	0	18.6	34.26	7.3	0	0	0	0
		11.5	18.4	34.26	7.2	0	0	0	0
2.塩内～片白島	9:23	0	18.7	34.20	7.9	0	4	0	0
		9	18.5	34.20	8.0	0	4	0	0
3.小田代	9:40	0	19.3	33.76	7.7	0	3	0	0
		11.5	18.3	34.21	8.0	0	5	0	0
4.沖松浦漁港	9:55	0	19.4	33.07	7.6	0	0	0	0
		2	19.4	33.40	7.8	0	0	0	0
		5	19.3	33.81	8.1	0	7	0	0
		9.5	18.4	34.17	6.8	0	0	0	0
5.鶴見振興局裏	10:01	0	19.5	33.40	7.9	0	0	0	0
		5	19.2	33.63	8.0	0	0	0	0
6.JF鶴見ポンツーン前	10:06	0	19.3	33.70	7.9	0	3	0	0
		10	18.5	34.16	8.1	0	38	0	0
7.石間	10:33	0	19.0	34.09	7.9	0	5	0	0
		5	18.6	34.17	8.1	0	14	0	0
8.守後	11:04	0	19.4	34.00	8.0	0	0	0	0
		7	18.7	34.19	8.2	0	16	0	0
9.霞ヶ浦	10:49	0	19.7	34.16	7.7	0	2	50	0
		8.5	18.4	34.23	7.8	0	37	20	0
10.片神	11:15	0	18.8	34.13	7.7	0	1	0	0
		9	18.5	34.21	8.0	0	3	0	0
11.水産試験場前	11:36	0	18.8	34.21	7.4	0	0	0	0
		11	18.3	34.23	7.6	0	0	0	0

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイおよびヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

カレニア・ミキモイは、今後の天候不良等によって増殖が危惧されます。今後の細胞密度の推移にご注意下さい。



参考: マグロ類における赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	1以上	10以上
ヘテロシグマ・アカシオ	500以上	5000以上
カレニア・ミキモイ	20以上	200以上
コクロデニウム・ホリクイコイデス	3以上	30以上

\* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。  
\* 魚の生理状態や環境条件等によって、上記警戒密度より低密度でも被害を引き起こす可能性があります。